



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック
 コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤木 英幸
 (氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,592	22.4	276	—	261	—	147	—
28年3月期第3四半期	2,118	48.5	△210	—	△228	—	△231	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 200百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △226百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	15.87	15.84
28年3月期第3四半期	△24.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	5,482	3,518	60.0
28年3月期	5,450	3,318	57.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,289百万円 28年3月期 3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	△0.4	205	△56.2	200	△56.2	110	△64.6	11.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正の詳細につきましては、本日(平成29年2月9日)別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	9,459,200 株	28年3月期	9,459,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	146,460 株	28年3月期	146,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	9,312,767 株	28年3月期3Q	9,312,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得が堅調に推移する中、個人消費も持ち直しつつあり、緩やかに回復しています。また、日本国内のインバウンド市場については、平成28年の訪日外国人客数は2,400万人を超え、一人当たり消費額やその行動パターンに変化は見られますが、今後も引き続き拡大が見込まれております。

このような環境のなか、当社グループは、「Re-Built(リ・ビルト)の総括」として、新たな柱となる事業の創出と拡大に努めてまいりました。

音声認識事業においては、継続して自動車関連業界及びインバウンド市場関連等へ、事業の収益化に向けた活動を積極的に展開いたしました。具体的な成果として、当第3四半期連結累計期間に、音声認識技術のライセンス供与にかかる売上及び受託開発業務にかかる売上が計上されました。また、新しい事業への取り組みとして、ウェアラブル翻訳デバイスや各種ロボット等へ向けての開発及び営業活動を積極的に展開いたしました。

翻訳事業においては、株式会社みらい翻訳との協業や、株式会社ATR-Trekが総務省により採択された「多言語音声翻訳の利活用に関する開発・実証」への共同提案等による機械翻訳事業、及び株式会社メディア総合研究所の人手による翻訳事業の拡大に努めております。当第3四半期連結累計期間においては、音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されました。

その他事業におけるインバウンド市場関連においては、インバウンド商材の拡充を目的として、平成28年8月1日付で株式会社アドホックの事業を会社分割(簡易吸収分割)により当社が事業承継し、承継した多言語対応の観光用自動ガイドシステム事業を中心として、効果的な拡販活動に努めております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は2,592百万円(前年同四半期比22.4%増)、営業利益は276百万円(前年同四半期は営業損失210百万円)、経常利益は261百万円(前年同四半期は経常損失228百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は147百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失231百万円)となりました。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第16期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	第17期 第3四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス事業	986	1,319	332
翻訳事業	638	708	70
その他事業	493	564	70
売上高合計	2,118	2,592	473

① ライセンス事業(音声認識・UIソリューション事業分野、CRMソリューション事業分野 他)

売上高は1,319百万円(前年同四半期比33.7%増)となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は1,139百万円(同51.4%増)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、主に音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されたことによるものであります。

CRMソリューション事業分野の売上高は144百万円(同13.6%減)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、主に受託業務にかかる売上が減少したことによるものであります。

② 翻訳事業(翻訳事業分野)

売上高は708百万円(同11.0%増)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、主に人手翻訳にかかる売上の増加及び音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されたことによるものであります。

③ その他事業(基盤事業分野、書き起こし事業分野、IT事業分野、映像事業分野、国際事業分野 他)

売上高は564百万円(同14.3%増)となりました。前第3四半期連結累計期間と比較し、書き起こし事業分野、IT事業分野及び国際事業分野においては受託業務の増加により売上高は増加しましたが、基盤事業分野及び映像事業分野では受託業務の減少により売上高は減少いたしました。

また、その他の増加要因として、吸収分割により承継した株式会社アドホックの事業にかかる売上が、第2四半期連結会計期間より計上されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し5,482百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が4,102百万円(前連結会計年度末比111百万円減)、固定資産が1,379百万円(同143百万円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少343百万円、受取手形及び売掛金の増加29百万円、仕掛品の増加175百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、のれんの増加56百万円、投資有価証券の増加104百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が946百万円(同170百万円減)、固定負債が1,017百万円(同2百万円増)であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少73百万円、短期借入金の増加35百万円、未払法人税等の減少36百万円、その他流動負債の減少91百万円によるものであり、固定負債の変動要因は、長期借入金の減少2百万円、繰延税金負債の増加4百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の増加147百万円等により3,518百万円(同200百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月10日発表の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年2月9日)別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530,819	3,186,850
受取手形及び売掛金	440,020	469,752
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	39,255	214,816
その他	106,931	133,533
貸倒引当金	△2,762	△2,424
流動資産合計	4,214,265	4,102,528
固定資産		
有形固定資産	75,388	79,914
無形固定資産		
のれん	205,485	262,079
ソフトウェア	263,120	243,151
無形固定資産合計	468,605	505,231
投資その他の資産		
投資有価証券	605,244	709,340
その他	111,582	85,429
貸倒引当金	△24,238	△37
投資その他の資産合計	692,588	794,732
固定資産合計	1,236,582	1,379,878
資産合計	5,450,847	5,482,407
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,445	127,716
短期借入金	—	35,000
1年内返済予定の長期借入金	510,008	505,822
未払法人税等	75,830	39,031
賞与引当金	45,786	46,485
その他	283,792	192,263
流動負債合計	1,116,864	946,318
固定負債		
長期借入金	1,002,486	1,000,000
繰延税金負債	12,739	17,324
固定負債合計	1,015,225	1,017,324
負債合計	2,132,089	1,963,643
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	903,938	903,938
利益剰余金	1,550,564	1,698,376
自己株式	△69,963	△70,014
株主資本合計	3,101,109	3,248,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,020	40,814
その他の包括利益累計額合計	30,020	40,814
新株予約権	8,978	16,581
非支配株主持分	178,649	212,496
純資産合計	3,318,758	3,518,763
負債純資産合計	5,450,847	5,482,407

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
売上高	2,118,908	2,592,607
売上原価	1,326,056	1,281,144
売上総利益	792,852	1,311,462
販売費及び一般管理費	1,003,231	1,034,845
営業利益又は営業損失（△）	△210,379	276,617
営業外収益		
受取利息	1,960	330
受取配当金	4,766	3,740
助成金収入	1,984	—
貸倒引当金戻入額	—	1,832
業務受託料	900	2,700
その他	1,708	944
営業外収益合計	11,319	9,546
営業外費用		
支払利息	6,901	6,144
為替差損	—	1,211
投資事業組合運用損	1,348	2,910
持分法による投資損失	20,389	14,488
その他	736	375
営業外費用合計	29,375	25,129
経常利益又は経常損失（△）	△228,435	261,034
特別利益		
新株予約権戻入益	30,902	—
受取保険金	2,235	—
特別利益合計	33,137	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	4,571
事務所移転費用	1,155	—
特別損失合計	1,155	4,571
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△196,452	256,462
法人税、住民税及び事業税	4,469	73,924
法人税等調整額	8,622	△7,454
法人税等合計	13,091	66,470
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△209,544	189,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,670	42,180
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△231,215	147,811

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△209,544	189,992
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,569	10,807
その他の包括利益合計	△16,569	10,807
四半期包括利益	△226,113	200,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△247,763	158,605
非支配株主に係る四半期包括利益	21,650	42,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。